



カローリングに挑戦する子どもたち



完成を祝い万歳三唱



白熱したバレーボール大会の決勝戦



セレモニーに花を添えた豊南高校の吹奏楽部

## 佐伯市総合体育館が オープン

市総合運動公園内に、佐伯市総合体育館が完成し、4月15日にオープンしました。

この日は、まず、サブアリーナで神事、落成式が行われた後、メインアリーナでオープニングセレモニーを開催。佐伯豊南高等学校の吹奏楽部がマーチングを披露し、開館を華やかに飾りました。その後、オープニングイベントとして、スポーツ少年団バレーボール大会が行われ、市内外から出場した22チームが熱戦を繰り広げました。

また、完成したばかりの体育館でスポーツを楽しんでもらおうと、館内を一日無料開放。サブアリーナでは体力年齢を測定する新体力テスト、シユートゲーム、カローリング(床で行うカローリング)が行われ、軽スポーツ室ではヨガ教室がありました。このほかトレーニングルームも開放され、多くの来場者がスポーツを楽しんでいました。

県南地域で最大規模を誇る総合体育館は、総工費約19億円をかけて完成しました。メインアリーナとサブアリーナを合わせると、バレーボールコート5面の広さがあり、2階の観客席は約1,100席あります。来年の「チャレンジ!おおいだ国体」では、レスリングの会場になります。

## 平和祈念館「やわらぎ」が リニューアルオープン



展示資料を眺める来場者

4月21日、常設展示品の展示替えを終えた平和祈念館「やわらぎ」が、リニューアルオープンしました。

「やわらぎ」は、佐伯と戦争とのかかわりを後世に伝えていくため、平成9年に開館。今回本格的な展示替えを初めて行いました。この日は、開館記念式典が行われ、入館無料で一般公開し、多くの人が来館しました。

今回の展示替えは、展示ケースの増設を行い、展示内容を充実。佐伯に海軍航空隊が設置されていく様子、真珠湾攻撃の演習基地や出撃地になったこと、戦時下の市民生活などについて豊富な資料や写真を交え紹介しています。このほか、中庭には

佐伯湾から引き揚げられた爆撃機のプロペラやエンジンの残骸などを展示しています。

また、映像コーナーとして、戦争を体験した市民の皆さんが、当時の様子を語っているビデオを上映。空襲で防空壕に爆弾が落ち、多くの人が犠牲になったことなどの体験談を聞くことができます。

戦争の悲惨さと平和の尊さについて深く学ぶことができる「やわらぎ」へ、皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。入場料は、大人300円、小・中学生100円です。

▽問い合わせ：教育委員会文化振興課 ☎42334



## 名誉市民称号贈呈記念碑を除幕



記念碑の除幕



謝辞を述べる兄・御手洗東洋さん

市は、日本経団連会長に就任した蒲江出身の御手洗富士夫さん(キヤノン株式会社社長)の功績をたたえ、昨年、新市初となる名誉市民の称号を贈りました。その記念碑を佐伯市総合体育館の玄関横に設置し、4月15日、現地で行幕式がありました。式には、多忙な御手洗会長の代理として兄の御手洗東洋さんが出席し、西嶋市長とともに記念碑の除幕を行いました。記念碑は、高さ1・2メートル、幅1・8メートルで四国産の自然石でできています。

## 西嶋市長の

### 主な公務日誌

(5月1日～15日)



- 1日(火)
  - ・第78回メーデー佐伯地区集会(佐伯文化会館下お祭り広場)
  - 2日(水)
    - ・映画「22歳の別れ」試写会(和楽)
    - 5日(土)
      - ・おおいゆうじま島まつり、海の駅1周年記念行事(現地)
      - 6日(日)
        - ・新茶まつり(本匠・小半森林公園)
  - 7日(月)
    - ・市政モニターOBOE会総会(第2委員会室)
    - ・定例記者会見(市長室)
    - 9日(水)
      - ・大分県市長会(宇佐市)
      - 10日(木)
        - ・洪水対応情報伝達机上演習(市長室)
        - 11日(金)
          - ・新任自治委員研修会(大会議室)
          - ・看護師実習生激励(市長室)
    - 12日(土)
      - ・春の全国交通安全運動出発式パレード(県南部振興局ほか)
      - 12日(土)
        - ・大分県ジュニアバドミントン大会(総合体育館)
        - ・竹灯物語全体反省会(市内)
    - 13日(日)
      - ・切畑小学校開校百周年記念式典(現地)
      - ・各地区対抗ナイターソフトボール大会開会式(濃霧グラウンド)
      - 14日(月)
        - ・タウンミーティング(弥生文化会館、本匠地区公民館)
        - 15日(火)
          - ・タウンミーティング(直川地区公民館、宇目地区公民館)

## 佐藤卓男副市長が退任

お疲れさまでした これからもご活躍を



職員が見守る中、感謝の花束を受け取る佐藤副市長

4月27日、市役所で、佐藤卓男副市長の退任式がありました。式では、西嶋市長が謝辞を述べ感謝状を贈呈。これを受け佐藤副市長は、これまでを振り返るとともに、別れのことを述べました。その後、多くの市職員に見送られながら、市役所を後にしました。

大分県職員から新市の助役(当時)に就任し、合併後間もない市政の円滑な運営に尽力しました。4月30日付けで退任し約1年9か月の職務を終え、5月1日付けで県職員に復帰。県人事委員会事務局長に就任しました。これまで大変ありがとうございました。今後のさらなるご活躍をお祈りします。

佐藤副市長は、平成17年7月

## 新戦力として頑張ります ～地元就職者激励会～

4月27日、和楽で、地元就職者激励会がありました。これは今春、市内の企業に就職した皆さんを応援しようと、佐伯商工会議所が主催したもので、関係者など約40人が出席しました。会では、西嶋市長や榎本護司県南部振興局長の激励を受けた後、地元就職者を代表して、神

田勝也さんがあいさつ。「お互い励まし合い力を合わせ、地域や企業の発展の一翼を担う新戦力として、期待に答えられるよう頑張ります」と力強く決意を述べました。  
今年、市内の高校を卒業して地元就職したのは85人です。皆さんの活躍を期待しています。



若さと情熱で頑張ってください

## 県道上爪清見園線が全線開通



開通式典の様子

直川仁田原と宇目塩見園を結ぶ延長9・4kmの「県道上爪清見園線」が全線開通し、4月21日、直川の横川公民館で地元主催の記念式典がありました。  
県道上爪清見園線は、昭和34年に県道609号として認定を受けました。その後、昭和60年の路線変更に伴い改良工事が進められ、今年3月に国道10号との交差点改良工事が完成し、全線開通となりました。

## 九州一佐伯市百景」フォトコンテスト （冬の部）入賞者を発表します

このコンテストは、九州一広い佐伯市の自然景観、伝統行事、風習、生活する人の姿などをとらえた写真を募集し、市をPRしようというものです。

実施期間は、平成18年12月1日～平成19年11月30日で、季節ごとに入賞者を決定。その中から、年間最優秀賞を選びます。

このたび、冬の部の入賞者が決定しましたので、名前と作品名を紹介します。応募作品数は、プリントの部68点、携帯写真の部29点でした。

### プリントの部

#### ■最優秀賞

該当者なし

#### ■優秀賞

田辺紀子さん（大分市）  
作品名「昇陽」

市野瀬孝さん（豊後大野市）  
作品名「霧の唄げんか大橋」

渡辺ノブ子さん（別府市）  
作品名「渚」

#### ■佳作

田中美さん（大分市）  
作品名「みんなでよいしょ」

矢野喜一さん（佐伯市）  
作品名「浜の日射し」

富高武光さん（佐伯市）  
作品名「おせつたい」

後藤賢吉さん（大分市）  
作品名「ミツウメ」

高治敏夫さん（佐伯市）  
作品名「しらうお漁」

内田睦子さん（別府市）  
作品名「湯立て神楽」

堀内雄介さん（千善温泉流山市）  
作品名「静かに回る冬の朝」

#### ■入選

清田文広さん（大分市）  
作品名「木蓮の花」

永江弘子さん（大分市）  
作品名「白壁の一隅」

田邊正彦さん（佐伯市）  
作品名「番匠川の夕暮れ」

渡谷恭子さん（大分市）  
作品名「光芒」

松井勝馬さん（春日市）  
作品名「城下町と梅」

星野憲一さん（佐伯市）  
作品名「厳冬銀波図」

飛高勝則さん（佐伯市）  
作品名「2007・初陽」

### 携帯写真の部

#### ■最優秀賞

該当者なし

#### ■優秀賞

該当者なし

#### ■入選

神田嵩正さん（佐伯市）  
作品名「天使の梯子」

山中秀樹さん（佐伯市）  
作品名「港の朝」

河本泉さん（熊本県大津町）  
作品名「大漁」

野村幸代さん（佐伯市）  
作品名「2007年初日の出」

## 春の部 締め切り迫る！

応募期限 6月15日(金)

詳細は、フォトコンテストホームページをご覧ください。

《問い合わせ》佐伯市観光協会  
(市役所観光課内、☎22-3942)

ホームページアドレス：

<http://photocontest.saiki-city.net/>